

バス停ゲーム化 プロジェクト

目次

1. 目次
2. 企画内容、コンセプト、ターゲット
3. 企画立案までの経緯。ゲームアプリによる利点
4. キャラクター案①
5. キャラクター案②
6. バス停スタンプラリー
7. コラボ・連携イベント
8. ご当地ラリー
9. その他搭載機能

【企画内容】

この企画は主にスマホアプリを用いた「バス停に住む精霊との親交を深めることを主軸としたアドベンチャースマホゲーム」です。

主な舞台は長和町の待合所のあるバス停。そこに住んでいる精霊との交流を通して長和町の様子や観光地、名産品などを知っていただくことが目的です。

【コンセプト】

コンセプト：「聖地巡礼 地域貢献 そこに見えるはユートピア」

今回提案させていただくゲーム企画を通して、長和町に興味を持っていただいた上で聖地巡礼のきっかけを与え、ゲーム地域の活性化や町外へ宣伝をするための架け橋となる事ができればいいなと思っています。

【ターゲット】

この企画の主なターゲットは「オタク」です。

オタクは底なしの経済力と人望を持ち合わせている上に、すぐ供給に食いつくという生粋の単純思考の持ち主なので、オタクから徐々に普段ゲームをやらない方までこの企画を通して長和町の良さを発信していけたらいいなと思います。

【企画立案までの経緯】

今回この企画に至った主な理由は「長和町にあるバス停の待合所のデザインを活かした企画で観光客の増加を図りたいと思ったから。」です。

長和町にある待合所にはデザインが優れたものが多く存在します。しかしそれは実際に足を運んだり写真で見たりなど、自ら進んで見物に行かないと出会うことができません。なので、本企画は従来の”その地に興味のある人が辿り着く観光の宣伝方法”ではなく”現代技術を活かした宣伝方法”を用いて地域活性化に繋がる企画立案をしようと思いました。

その結果が「バス停に住む精霊との親交を深めることを主軸としたアドベンチャーゲーム」の企画立案です。

【ゲームアプリによる利点】

スマートフォンが普及している現代、スマートフォンを所持している人の殆どがゲームアプリをしています。また、現在はスマホアプリの市場も高騰しているため、本企画はそのゲームアプリを通して長和町に興味をより知っていただきたいなと思います。そのために、当アプリのみの特別機能として「バス停スタンプラリー」「コラボ・連携イベント」「ご当地ラリー」があります。各々の詳細は各ページにて掲載してありますので、そちらをご確認ください。

【キャラクター案①】

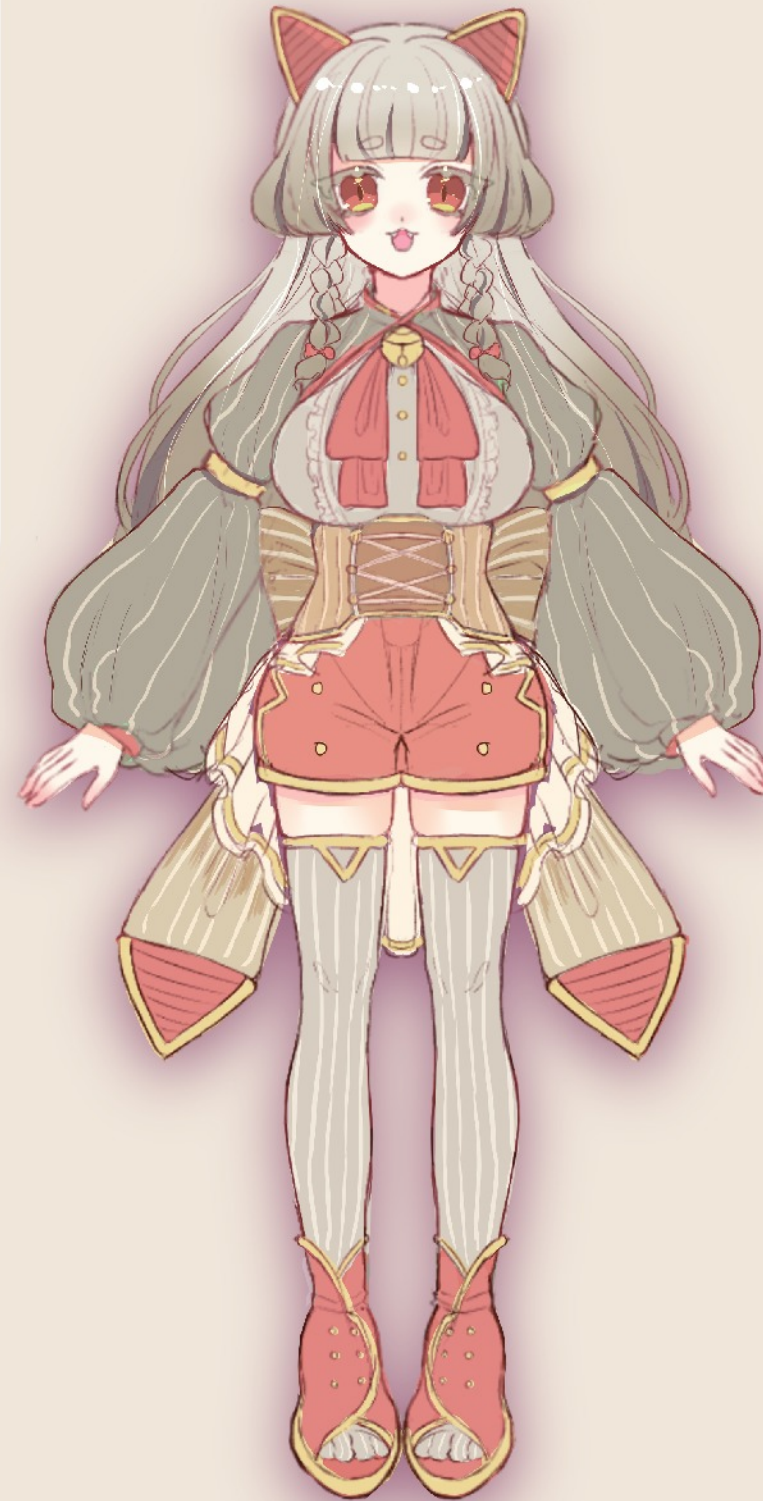
【上深山口】

上深山口の待合所に住んでいる精霊。雪ん子のような姿をしている。バス停付近に居る生き物たちを追いかけてたり観察することと、利用客の世間話を聞くのが好き。精霊なので寒暖差を感じないため、年中この格好。



【芹沢】

芹沢の待合所に住んでる精霊。猫のような自由気ままな性格で、よく日向ぼっこをしている。バス停に訪れる老夫婦を見る度「素敵だみゃ〜♡芹沢もこんな風に生涯を捧げれる王子様に出会いたいねん♪」と、夢を見ながらうっとりとしている。

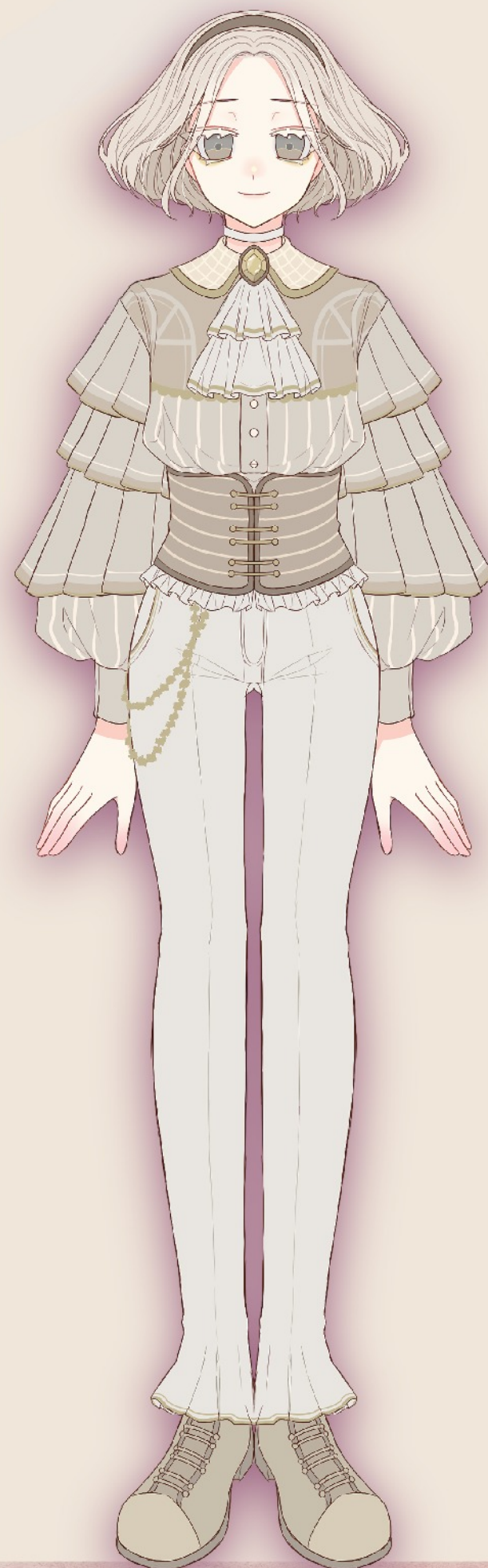


【キャラクター案②】



【下和田中組】

下和田中組の待合所に住んでいる精霊。
待合所の近くに馬頭観音の道祖神があるため「私もみんなを守るんだ!」と、いつも顔を顰めて怒ったふりをしている。実際はとてもフレンドリーで優しく、よく笑う女の子。



【円通寺】

円通寺の待合所に住んでいる精霊。おっとり爽やかな青年。
近くにお食事処や小学校があるため、普段は待合所から子供達の声や町民の賑やかな声を聞きながらまったりと過ごしている。
そこに円通寺が居る所は、ふわりといい匂いがする。



【バス停スタンプラリー】

【説明】

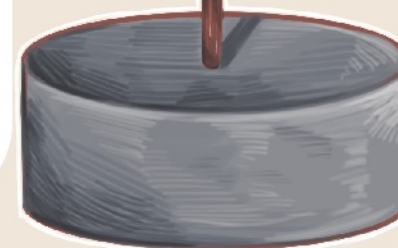
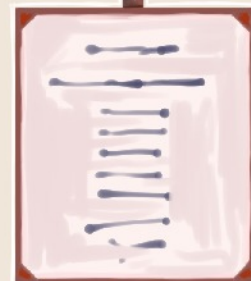
特別機能の一つである「バス停スタンプラリー」は、長和町の全バス停が対象のスタンプラリーです。スタンプの押し方はアプリに搭載されているカメラ機能でバス停のポール or 待合所内にある QR コードを読み取ることでスタンプを押すことができます。

集めたスタンプの数に応じて、称号やアイテムを手に入れることができます。また、各バス停をタップすることでそこに住んでいる精霊のプロフィールや、時刻表なども閲覧することができます。

【AR 機能について】

精霊が実装されているバス停のバス停スタンプラリー用に設置されているバス停のポール or QR コードを読み取ることで、実際にそこに精霊が存在しているかのような写真を撮ることができる AR 機能も搭載されております。

”スマホ越しに会える精霊”を具現化した機能です。



バス停スタンプラリー

52 / 123

巡回マニア

ホーム

路線	色
白樺湖線	
姫木線	
美ヶ原高原郷線	
男女倉線	
学者・立科線	
立岩線	

拡大

縮小

全体

移動

タップで詳細を開きます。

【コラボ・連携イベント】

【説明】

特別機能の一つである「コラボ・連携イベント」は、長和町の観光地や名産品とのコラボにより開催されるイベントです。

この機能は実際にコラボ先に足を運ぶ事によって得られる報酬もありますが、実際に行くことが叶わないユーザーでも楽しめるような機能が搭載されています。

主な機能はイベント限定ストーリーですが、そのストーリーを解禁するためにコラボイベント限定のミニゲームを行うことで手に入れることのできる「乗車券」が必要となるので、若干の周回要素も含まれています。

【イベント参考例】

イベントの参考例として今回提示させていただくのは「アニマルフューチャー」という長門牧場コラボのイベントです。

このイベントのストーリーは精霊達と一緒に長門牧場を巡るもので、イベントを進めるために必要な乗車券を集めるミニゲームは動物がイラストのジグソーパズルです。



【ご当地ラリー】

【説明】

特別機能の一つである「ご当地ラリー」は、長和町の観光地やグルメなどを実際に巡ることを推奨とした機能です。

ご当地ラリーも、バス停スタンプラリーと同様実際にその場に行きスタンプを集め、その数に応じた報酬を受け取ることでできる機能ですが、実際に行くことが叶わないユーザーでもこの機能を利用できるように「項目についての説明」や「実際に足を運んだユーザーのレビューの閲覧」をすることができます。

【各サイトとの連携】

「ご当地ラリー」の機能は、アプリ内に留まらず自治体が管理しているサイトとも連携しています。

そうする事により、アプリ内では知り得なかったイベントカレンダーや営業時間などの情報もリンク先のサイトに飛ぶ事によってより詳細に知ることができます。

また、レビューの方も連携している外部サイトからも引用し搭載することができるので、アクティブユーザーのみならず様々な観光客の声を聞くことができます。



【その他搭載機能】

【ゲーム内の工夫】

このゲーム企画のターゲットは主にオタクの方々ですが、最終的には普段ゲームをやらない方々にも気軽に楽しんでいただけるようなゲーム企画にしたいので、横画面ではなく縦画面構成での展開を予定しています。また、実際に長和町を訪れる事が叶わない方も楽し事ができるように、ミニゲームやデイリータスクやログインボーナスなどの周回要素のあるミッションをこなす事で、実際に足を運ぶ事で入手できるアイテムも受け取る事ができます。

更に、時間が無い方のための救済処置として課金要素もあります。課金によって起こる利益でアプリのさらなる発展や長和町発展への資金となれば幸いです。

【標準システム】

以下は、特別機能の他ににある標準システムです。(詳細は除く)

メインストーリー・サブコミュニティー・育成交流・常設ガチャ・イベント限定ガチャ・季節限定ガチャ・メインミッション・デイリータスク・ショップ・設定・スクリーンショット機能・カメラ機能・シェア機能 (LINE・Twitter・Instagram など)

